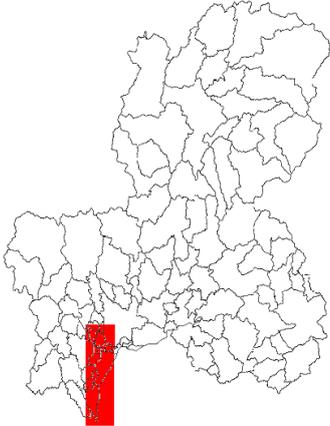


キソガワシシウド		<i>Angelica</i> sp.	絶滅危惧Ⅱ類
			セリ科
選定理由	大部分の生育地で生育条件が明らかに悪化しつつあり、個体数が大幅に減少している。	写真(奥田浩之) 	
形態の特徴	多年草。茎は直立、上部は分枝して、高さ2-3m。葉は3~4回羽状複葉。全体的にシシウドに似るが、葉裏はほとんど無毛。果実は円形~広楕円形。		
生態的特徴	河川敷の林縁の草地や、堤防法面の草地に見られる。花期はシシウドよりも早く、5~6月。		
分布状況	本州中部(木曾三川下流部)に分布する。岐阜県においては県南西部の木曾三川に見られる。		
減少要因	生育環境となる河川敷の開発や堤防の改修。本種の生育環境である低地は、人間の生産活動の活発な場所でもあり、改変により生育地が消失している。		
保全対策	現状の生育地の保全に配慮が望まれる。		
特記事項	未記載種であり、和名は「レッドデータブックあいち2001 植物編」(愛知県, 2001年)で新称された。		
参考文献	・「愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックあいち2001-植物編-」		